

＜テーマ＞基礎・基本の定着を図るとともに、既習事項を糸口にして本時の自力解決に取り組ませる「算数コーナー」の工夫（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】

エビングハウスの忘却曲線によれば、人間は1日たつと覚えたことを半分、1ヶ月たつと8割忘れてしまうという。そこで、既習事項の確実な定着を図るために、算数コーナーを教室に設け、学習のまとめを掲示している。

また、授業で新しい課題に出合った時に、類推を意識的に行わせる手段として、既習事項を振り返る習慣を身に付けさせたいと考えた。

【実践の概要】



今日の課題を自力解決する前に、算数コーナーを見てみましょう。前に学んだことの中に、ヒントはないかな？

◆ 注意 ◆
学習のまとめを教室の一角に貼るだけではダメ！



そうだ、前の時間にやった○○○が関係ありそうだ。でも、途中まではできても、最後まではできないぞ・・・

- はやく
- かんたん
- せいかくに
- どんなときも

☆ポイント1☆
既習事項を振り返らせるような、意図的な教師の声掛けが必要。また、漫然と見つめさせるのではなく、見る観点を示したい。

☆ポイント2☆
毎時間の算数の授業で、振り返りの時間をもつことも考えられる。授業モデルに位置付けることも1つの方法。児童に“既習事項を使うことはよいことだ”と実感させたり、習慣付けたりすることが必要。

